1. 選んだ本の書誌情報

井手英策『日本財政 転換の指針』岩波書店、2013年

2. 目次

- 第1章 財政の理念を考えるー「ユニバーサリズム」とは何か
 - 第2章 「土建国家」の成立と零落ー分配できない国家の憂鬱
 - 第3章 日本社会の何が壊れてしまったのか
 - 第4章 財政再建をどう進めるか
 - 第5章 新しい財政のグランドデザインー受益が築く尊厳と信頼
 - 第6章 公正な社会をめざしてー新しい正義の財政基盤
- あとがき

3. 著者紹介

1972年 福岡県生まれ

1995年 東京大学経済学部卒業

2014年 慶応義塾大学経済学部教授

2015年 『経済の時代の終焉』第15回大沸次郎論壇賞受賞

著書 『高橋財政の研究ー昭和恐慌からの脱出と財政再建の苦闘』2006年

『財政赤字の淵源ー寛容な社会の条件を考える』2012年

『日本財政の現代史1ー土建国家の時代1960～85年』2014年

『経済の時代の終焉（シリーズ 現代経済の展望）』2015年

4. 選定理由

- 1. 日本財政の歩みについて
- 2. 日本の財政の赤字の原因とは
- 3. 日本社会の変容と土建国家との関係について
- 4. 土建国家における安心と信頼の概念とは
- 5. 日本の国債発行額は妥当なのか
- 6. 税収の必要性
- 7. どのような財政であれば赤字にならないのか
- 8. 財政ニーズの転換点はいつだったのか
- 9. ユニバーサリズムの視点とは
- 10. 財政再建において重要な人間像、社会観とは